



艇のサイズ別 船底防汚塗料の使用量目安

■セイルボートの場合

艇の大きさ	塗料使用量(ℓ)				
	バインダー	船底防汚塗料			
		015	033 PREMIUM	033	037
20 フィート	2.0	2.9	2.9	3.5	3.2
26 フィート	2.8	4.1	4.1	4.9	4.5
30 フィート	4.0	5.7	5.7	6.8	6.2
35 フィート	4.7	6.8	6.8	8.1	7.4
38 フィート	5.5	8.0	8.0	9.5	8.7
44 フィート	6.5	9.4	9.4	11.2	10.3
51 フィート	7.9	11.4	11.4	13.6	12.5
標準膜厚 (塗り回数)	40μm ×1回	50μm ×2回	50μm ×2回	50μm ×2回	50μm ×2回
標準塗付量※ (1缶)	10㎡	7㎡	7㎡	6.4㎡	7㎡

※1ℓで50μm×1回塗装する場合(1缶2ℓあたり50μm×2回)



上の表は、当社経験値による一般的な平均使用量です。船体のメーカーおよびデザインにより使用量は変化しますので、より正確な使用量を求める時は以下の計算式をご使用ください。

船底防汚塗料を2回目を塗るまでの塗装間隔

気温	033 PREMIUM、033	037	039
5℃	12時間以上	8時間以上	12時間以上
10℃	7時間以上	7時間以上	8時間以上
20℃	5時間以上	6時間以上	5時間以上
30℃	4時間以上	5時間以上	4時間以上

セイルボート

$$0.5 \times \text{水線長} \times (\text{吃水} + \text{全幅}) = \text{船底部面積}$$



まず、船底部の面積を求めます。
 $0.5 \times 7.6 \times (1.7 + 3.4) = 19.4 \text{㎡}$
 次に、求めた面積を膜厚50μm×1回で塗装する場合の使用量を求める。Seajet 033の場合、7.0㎡/ℓなので
 $19.4 \text{㎡} \div 7.0 \text{㎡/ℓ} = 2.77 \text{ℓ}$
 標準仕様塗膜は、50μm×2回塗りなので最終的に必要な塗料の量を求めると
 $2.77 \text{ℓ} \times 2 = 5.5 \text{ℓ}$ (約3缶)

■ 適合

	○ 適合	× 不適合
艇の素材	FRP艇 鋼船	アルミ船
保管状態	海上係留 淡水係留	陸置き
塗装部位	船底没水部	ハル等 非没水部

※注意

シャークホワイトは浸水後一ヶ月程度で、没水部の色がホワイトになります。旧塗膜はできるだけ剥がして下さい。不可能の場合やセルフポリッシング型塗料の場合はバインダーコートとしてSeajet 015を使用してください。

seajet 033 PREMIUM

自己研磨型 船底防汚塗料

亜酸化銅タイプ

耐フジツボ性が大幅アップ

安定した防汚性能により船底防汚塗料の定番として多くの方にご愛顧いただいているシージェット033 から、防汚性能を更に強化したプレミアムなグレードが誕生しました。フジツボに対して強力な防汚性能を誇り、多くのユーザーから高い評価を得ています。

●シージェット033プレミアム/容量2ℓ

¥31,130

Color Lineup

ブルー

レッド

シャークホワイト

ブラック

■パワーボートの場合

艇の大きさ	塗料使用量(ℓ)				
	バインダー	船底防汚塗料			
		015	033 PREMIUM	033	037
20 フィート	2.0	2.9	2.9	3.5	3.2
26 フィート	3.8	5.4	5.4	6.5	5.9
30 フィート	5.9	8.5	8.5	10.2	9.3
35 フィート	8.9	12.8	12.8	15.3	14.0
38 フィート	10.4	15.0	15.0	18.0	16.4
44 フィート	12.0	17.3	17.3	20.7	19.0
51 フィート	12.9	18.5	18.5	22.1	20.3
標準膜厚 (塗り回数)	40μm ×1回	50μm ×2回	50μm ×2回	50μm ×2回	50μm ×2回
標準塗付量※ (1缶)	10㎡	7㎡	7㎡	6.4㎡	7㎡

※1ℓで50μm×1回塗装する場合(1缶2ℓあたり50μm×2回)



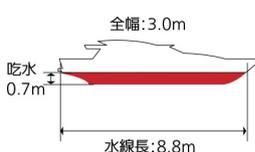
計算式で算出した船底防汚塗料使用量は、全て塗り切ることが防汚性能を維持するポイントです。

下架までの乾燥時間

気温	033 PREMIUM、033	037	039
5℃	24時間以上	16時間以上	24時間以上
10℃	16時間以上	12時間以上	18時間以上
20℃	12時間以上	10時間以上	12時間以上
30℃	8時間以上	8時間以上	8時間以上

パワーボート

$$\text{水線長} \times (\text{吃水} + \text{全幅}) = \text{船底部面積}$$



まず、船底部の面積を求めます。
 $8.8 \times (0.7 + 3.0) = 32.6 \text{㎡}$
 次に、求めた面積を膜厚50μm×1回で塗装する場合の使用量を求める。Seajet 033の場合、7.0㎡/ℓなので
 $32.6 \text{㎡} \div 7.0 \text{㎡/ℓ} = 4.66 \text{ℓ}$
 標準仕様塗膜は、50μm×2回塗りなので最終的に必要な塗料の量を求めると
 $4.66 \text{ℓ} \times 2 = 9.3 \text{ℓ}$ (約5缶)

■ 塗装条件

塗装方法	エアスプレー、ハケ、ローラー
気象	温度: 0℃以上、湿度: 85%RH以下
希釈シンナー	Seajet シンナー A
希釈率	エアスプレーの場合: 0~20% ハケ、ローラーの場合: 0~5%
適合下塗り	Seajet 015 等

■ 危険物表示

引火点	300℃	爆発限界(体積%)	限界 0.5 上限 7.0
消防法危険物区分	第二石油類	有機溶剤区分	第二種有機溶剤